八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 11 2026

「この鳥、天然記念物なんだ」号

八丈島で大きな被害が発生した昨年の台風 22・23 号から一年が経ちました。もう少し山に緑が戻るかと思いましたが、そうはいかなかったです。「野鳥の姿もすくなくない？」という声も聞きます。台風以前の八丈島の姿に戻るには相当長い年月がかかるのかもしれないですね。

さて、今回は「タネでバッジを作ろう！」、「講演会『天然記念物の鳥たち』」、「ゆるり自然観察会『花に集まる虫』」についてのお話です。

タネでバッジを作ろう！

未就学児と保護者の方を対象にした「いっしょに作ろう」シリーズは、不定期で季節ごとに開催しています。

本土では紅葉が始まり秋を肌で感じますが、常緑の島八丈では感じにくい秋を感じて欲しいと計画しました。

秋といえば、いろんな秋がありますが、今回は、実りの秋！を採用！園内で調達した種やお料理した時の野菜の種を使って、バッジを作ることにしました。



今回使用した種はこちらになります。

＜今回使用した種＞（左上から右へ）

アロウカリア、カラスウリ、カボチャ、エノコログサのうさぎ、キフゲットウ、アオノクマタケラン、スダジイのどんぐり、トウガン、ヤブツバキ、ジュズダマ、スイカ

以上 11 種類でした。

準備した種の中では、「カマキリの頭」みたいなカラスウリの種や高いところから種を撒き散らし遠くに飛ばす背高ノッポの木のアロウカリアの種、キフゲットウやジュズダマはあまり見慣れない種です。反対に、スダジイのドングリ（椎の実）、カボチャの種やスイカの種はお散歩やご家庭でおなじみですね。

どんな種があるのか紹介した後はみんなで使いたい種を選び、木工用ボンドを使って土台に貼りつけていきます。この土台はスタッフがダンボールを丸く切り出たお手製のものです。一見、ただ貼るだけの簡単な作業のようですが、たくさんの種から自分の使いたい種を選んで、彼らの思い描いたこだわりの場所にはる。一人一人が小さな芸術家のようにも見えました。





さあ、そんな小さな芸術家たちの作ったバッジをご紹介します。いかがですか？　どれもみな素晴らしいですね。







これからも、みんなが楽しく参加できるプログラムを考えるので、また遊びに来てくださいね！皆様のご参加、待ってます！また遊ぼうね！（M.K.）

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

講演会「天然記念物の鳥たち」

10 月 24 日、講演会「天然記念物の鳥たち」を開催し、48 名の方にお越し頂きました。講師は、（公財）日本野鳥の会自然保護室自然保護グループチーフで、以前は三宅島アカコッコ館のレンジャーとしても活躍していた山本裕さんにお願いしました。この講演会は、東京文化財ウィークの企画事業の一つとして開催しています。

講師の山本さんは当日の飛行機で来島予定でしたが、搭乗した飛行機が強風のため着陸できず、羽田空港へ引き返してしまうハプニングが発生！　最終便に振り替えて、無事に着陸し、開催することができました。





講演会は、「天然記念物とは？」「日本の鳥、伊豆諸島の鳥」「伊豆諸島の天然記念物の鳥」の三つの話に加え、日本野鳥の会についての話もありました。

「天然記念物とは？」では、八丈島の 6 つの天然記念物「ヘゴ自生北限地帯」「オカヤドカリの仲間」「アカコッコ」「カラスバト」「イイジマムシクイ」「カンムリウミスズメ」の紹介もありました。文化財に関しては八丈町のサイトで一覧になっているので分かりやすいですね。

八丈島の文化財

「日本の鳥、伊豆諸島の鳥」では、日本で確認されている鳥が 644 種もいること、地域・環境ごとに見られる鳥が異なり、地域ごとに特有の自然、生物多様性があること。そして伊豆諸島の鳥とその特徴についての話もありました。島の生物相は、固有種が生息している、脆弱である、大陸の生物相との差がある、大陸に棲む種との生態の差がある、島の生物相は大陸よりも若いなどの特徴があり、絶滅リスクが高いことなどの話もありました。「オーストンヤマガラ」「シチトウメジロ」「タネコマドリ」「モスケミソサザイ」などの亜種が本州の亜種と形態や生態にどのような違いがあるのかの話もありましたが、この内容は資料として配付があり、後から再確認ができそうでした。





「伊豆諸島の天然記念物の鳥」として、「アカコッコ」「カラスバト」「イイジマムシクイ」「カンムリウミスズメ」に加え、「アホウドリ」の 6 種を詳しく紹介してくれました。特に「カンムリウミスズメ」については伊豆諸島を特徴づける海鳥として多くの時間を割いてくれました。アホウドリ類に関しては、混獲や気候変動に加えプラスチックごみの問題提起もありました。

最後に伊豆諸島の自然の重要性（固有種・固有亜種の生息地、海鳥の繁殖地、渡り鳥の中継地）についての話や生息地に起きている課題と解決に向けて、島の人たちがどのように向き合っていくべきかという話で締めくくられました。



今回の講演会は、地域おこし協力隊（八盛隊）のメンバーとのコラボで館内展示をしている「富士箱根伊豆国立公園 90 周年」のイベントも兼ねているため、終了後にエコツーリズムや八丈島の魅力についてのアンケートを実施し、クロアシアホウドリのクリアファイル（写真右上）のプレゼントもありました。

さらに日本野鳥の会から 4 種類の冊子（写真右下）、環境省から富士箱根伊豆国立公園 90 周年トートバッグと、盛りだくさんな講演会でした。(H.T.)

ゆるり自然観察会「花に集まる虫」

10 月のゆるり自然観察会のテーマは「花に集まる虫」でした。秋に咲く花に集まってくる虫たちを観察しようと企画しましたが、下見の時は咲いていた花が当日には見られず・・・。しかし！気持ちのよい天気に恵まれ、参加者２名と一緒に楽しく観察会を行うことができました。



今回は、ビジターセンターから出発し、ビロウ広場の芝生を通り抜けて東エントランス手前まで向かい、メインストリートを通ってビジターセンターに戻るルートで散策しました。

出発してすぐに目に留まったのはアシタバの花です。そこにいたのは、やってくる獲物を待ち伏せしていたハラビロカマキリと、休憩中のオンブバッタのペアを観察できました。また、少し離れたところには右写真のルリチュウレンジが花の蜜を吸いにきていました。この他にも、キンケハラナガツチバチやオオシマツヤハナムグリなど、複数の虫を各所で見ることができました。さらに、花ではありませんが、カラスザンショウの葉にアゲハの幼虫がたくさん付いている様子も観察できました。



今回はただ観察するだけでなく、「見つけた虫の 30 秒スケッチ」にも全員で挑戦してみました。タイマーできっかり測りましたが誰ひとり時間内には描ききれず、1 分に延長して再挑戦。それでも描ききるのは非常に難しかったです。しかし、この短い時間で虫の特徴を捉えようとして､それぞれに味わいあるスケッチになりました。

最後に描いたスケッチの一部を紹介します。左は私が描いたもので、なんとなく虫に見えるのではないでしょうか。ハラビロカマキリをよく見て描いたのですが、特徴を掴みきれず､ケムクジャラな生き物になりました。右は参加者が描いてくれたもので、ハラビロカマキリとオンブバッタまで生き生きと描いてくださいました。このように並べてみると、同じ生き物を描いているのにそれぞれ描き方や見え方が違うのが分かって面白いですね。





次回のゆるり自然観察会は､「この種、誰の」というテーマで開催予定です。(K.T.)

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、上記観察会でも見られた「キンケハラナガツチバチ」にスポットを当ててみたいと思います。



キンケハラナガツチバチ
Megacampsomeris prismatica

ツチバチ科アラメハラナガツチバチ属。日本では、本州から四国、九州、沖縄に分布。「東京都伊豆諸島のハチ目有剣類」によれば、伊豆諸島では青ヶ島を除く全島（有人島）に分布しているようです。

大きさは 30mm ほど、金色の毛がとても目立ちます。秋に多く、花に集まる虫の一つ。コガネムシ科の幼虫に卵を産む寄生バチ。(H.T.)

2026 11 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 11:12 19:52 02:58 14:52	◑ 2 12:46 21:54 04:13 18:13	3 ガイドウォーク 13:39 05:45 19:48	4 00:39 14:12 07:09 20:29	5 02:11 14:38 08:11 21:02	6 03:14 15:02 08:58 21:32	立冬 7 ガイドウォーク 04:03 15:25 09:37 22:01
8 ガイドウォーク ゆるり自然観察会 「この種、誰の」 04:45 15:49 10:12 22:31	● 9 05:24 16:14 10:44 23:01	10 06:00 16:40 11:16 23:32	11 06:35 17:08 11:46	12 07:11 17:36 00:04 12:17	13 07:47 18:04 00:38 12:47	14 ガイドウォーク 08:27 18:33 01:13 13:20
15 ガイドウォーク 09:11 19:04 01:50 13:59	16 10:05 19:45 02:31 14:56	◐ 17 11:10 20:58 03:20 16:39	18 12:13 23:14 04:25 18:37	19 13:02 05:49 19:35	20 01:13 13:41 07:08 20:16	21 ガイドウォーク 02:29 14:16 08:10 20:53
小雪 22 ガイドウォーク 03:28 14:48 09:01 21:31	23 ガイドウォーク 04:20 15:21 09:46 22:09	○ 24 05:09 15:55 10:28 22:50	25 05:58 16:30 11:07 23:33	26 06:48 17:07 11:46	27 07:38 17:47 00:18 12:26	28 ガイドウォーク 八丈学講座「大人クラフト 秋のスワッグを作ろう！」 08:30 18:31 01:05 13:11
29 ガイドウォーク 09:23 19:21 01:53 14:04	30 10:16 20:25 02:44 15:18					この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

ゆるり自然観察会 「この種、誰の」	毎月テーマを変えて、ゆったりと公園内の自然を親しむ自然観察会。 11／8（日）（13：30～ 約1時間半） 小学生以上（小学生は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座「大人クラフト 秋のスワッグをつくろう！」	毎月行っている八丈学講座。毎年恒例となっているスワッグをつくりましょう！ 11／28（土）（13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日祝日及び休日、（10：30～ 約1時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外の上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2026.11.1 第306号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/

編集後記

講演会のページで紹介したクロアシアホウドリのクリアファイルですが、地域おこし協力隊（八盛隊）主催の富士箱根伊豆国立公園９０周年パネル展示のアンケートに答えるともらえます！１月中旬までビジター内で展示しているので、ぜひ見に来て、アンケートに答えてください！ (H.T.)